

きのこで元気なまちづくり人づくり事業

取り組みに至る背景・事業の目的

きのこ生産日本一の北信州にあって、きのこを地域資源のひとつとして生かした地域づくりを進めようと、きのこの魅力を語り、消費者の視点に立った情報発信ができる人材を育成する「信州きのこマイスター資格認定講座」を開設。この「信州きのこマイスター」の誕生を機として、関係組織や地域の熱意ある人々の参加によるセミナーなどを開催し、きのこを起爆剤とした実践的なまちづくりについて考え、推進していく。

事業内容

- セミナーは、約 20 人が参加し、月 1 回のペースで計 7 回開催。アドバイザーの助言を参考にしながら、きのこを通じた元気なまちづくりへの夢と具体的手法について討議し、交流人口の増加による賑わいの創出と経済効果を図る「中野まち育てビジョン」を策定した。
- セミナー参加者の呼びかけにより「元気なまちづくりフォーラム」を開催。セミナーの集大成である「中野まち育てビジョン」を市民に提案するとともに、中野市の良さや課題を探り、将来に向けたまちづくりの夢を語り合った。
- 「信州きのこマイスター」第一期生による研修交流会を開催。きのこのスペシャリストとして地域の活性化にどう関わっていくかについて意見を交わした。



事業効果

セミナーを通じて策定した「中野まち育てビジョン」を具体化しようと、平成 20 年 4 月に、セミナー参加者を主とした有志 22 名から成る「信州中野ゆめ倶楽部」を結成。職業も年齢も幅広い仲間が手を組み、「もっと楽しく、笑顔が絶えないまちにしたい」という夢に向かって活動を始めた。

7 月からは、商店街の空き店舗などを利用し、こだわりの農産物を消費者とふれあいながら販売する街路市「あんと市」を月 2 回開催しており、「農と商のコラボレーション」により賑わいの創出を図ろうという具体的な取組みが展開されている。

「あんと市」には、市内企業や農家の有志がこだわりの商品を持ち込み出店し、地元客の人気を集めている。また、通り沿いの商店も、新酒の試飲販売や、店頭にかまどを出し、炊きたてご飯のおにぎりを販売するなど工夫を凝らして参加しており、「生産者と商店が協力して市街地を活性化し、観光客の呼び込みにつなげたい」という思いが広がりを見せている。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

「あんと市」の継続開催や、きのこを元気なまちづくりの起爆剤に、ビッグイベントの開催に向けた研究、活動の組織づくりに取り組む。

【選定のポイント】

業種の枠を超えた活動組織を結成し、まちづくりの夢を具体化する実践的な取組みを展開している。

団体名 職業訓練法人 中高職業訓練協会	事業タイプ	ソフト事業
連絡先 TEL: 0 2 6 9 - 2 3 - 3 0 0 5	事業費	1, 1 1 4, 1 1 5 円
Eメール: nakanotc@vally.ne.jp	支援金額	1, 1 1 4, 0 0 0 円